

兎角不順之季候ニ
候処、弥無事重畳
存候、其方出立後
無別条罷過候間、

此段安心可被致候、
陳者此度

御所より御書付之趣
并ニ 肥後様より之
被 仰聞之趣も有之
候ニ付、我等共来ル
正月四日当地発足、

(東)

当京府へ罷下り
申候様相成候間、
左様承引可被致候、
右ニ付案内候へ者、
金子調達方之義ニ付
御連名状を相達シ

候間、其方より早々
差送り可被申候、尤
其方兼而承知之通り
金子必至と差支罷
候折節、俄出立
無此上存候間、
其方よりも金子調達
方之義骨折精々
一同へ談事呉可
相成丈調達行届
可申様頼入申候、
前々相咄候通り、
東京府へ罷下り
候而も如何凌方
付ケ可申哉と日夜
心配不少、此段
遠察可給候、未
其地出立ニも相成

不申候ハ、役人共
桑名宿出張之砌
同所へ同様出張
いたし被呉候様
是又頼入申候、尤
別紙休泊宿
遣し申候間、左様
承引可被致候、先者
右申入度余者
面談之上万事
申入候、且当地之
様子六次平より
委細聞取可申候、
先者右申入度迄
如此候、已上、

十二月廿九日認

休泊付

来正月四日当地出立、
大津泊五日、土山泊六日、
桑名宿泊、右口之休泊
相成候間、左様相心得
可被申候、已上、

三淵縫殿助 (黒印)

三淵鍵之助 (黒印)

鈴木六太夫へ